

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論実習 I (1B353) (実践的教育科目)			担当教員	高江洲有沙 (実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
栄養教育論Ⅰ・Ⅱで修得した知識を基に、様々なライフステージの対象者（個人や集団）に応じた栄養教育を行うことができる技術や手法を修得する。具体的には、対象者のアセスメントから抽出した課題を基に栄養教育計画・学習指導案を立案の上、効果的な栄養教育を展開することができる実践力を、模擬栄養教育を通して修得する。							②③④ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	修得した知識を応用し、対象者の課題と食および環境との関連を説明することができる。				・定期試験	30%	
情報収集、分析力	対象者の課題を明らかにし、重点を絞った栄養教育を組み立てることができる。 与えられた課題を読み取る力をつけることができる。				・定期試験	30%	
コミュニケーション力	ライフステージ別の特徴を踏まえた栄養教育を平易な表現でプレゼンテーションができる。				・プレゼンテーション ・ロールプレイ	10% 5%	
協働・課題解決力	与えられた課題に対し、グループメンバーで協働し、解決に向けた取り組みができる。その際、自らの考えを述べることができる。				・プレゼンテーション ・授業態度	15% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験による評価(60%)は、実習内で学修した栄養教育論や臨床栄養管理学・公衆栄養学等を基礎とした内容を筆記式で行う。プレゼンテーション（模擬集団栄養教育）の評価（25%）およびロールプレイ（模擬個別栄養教育）の評価（5%）は、対象者のアセスメント結果および自らの考えやグループの意見を反映させた課題解決が望める栄養教育であるか、対象者にとって平易で理解しやすいかを評価する。なお、プレゼンテーションおよびロールプレイの評価は、模擬栄養教育終了後の事後レポートと併せて評価を行う。授業態度（10%）は、実習へ臨む態度、グループでの取り組み姿勢やメンバーとの協力態度等で評価する。 資料やレポートの提出はポートフォリオを活用し、授業内でフィードバックする。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ライフステージ別の対象（集団および個別）を想定し、模擬栄養教育を行うことを主とした授業である。その際、適切な栄養教育計画を立案し、それを基に作成した教育媒体を活用したプレゼンテーションや、個別栄養教育に必要な栄養カウンセリング技法を活用したロールプレイを通して学修する。 テーマによって3～6名のグループで模擬栄養教育の準備から実践までを行う。模擬栄養教育実施後は、全員でディスカッションを行い、教育内容等を評価し合う。 担当教員の学校や医療機関等での実務経験から現場をイメージした具体的なアドバイスをを行い、より実践的な技術の修得へ導く 授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。 							
教科書・参考書							
教科書：「改訂 マスター栄養教育論実習」建帛社 参考書：日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」第一出版 指定図書：「改訂 マスター栄養教育論実習」建帛社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 栄養教育の実施においては、対象者との信頼関係が不可欠であり、その際には栄養カウンセリング技法の活用が求められるため、それらを日ごろの生活から意識し、多くの人とコミュニケーションを図る中で実践することを求める。 授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁、無許可での途中退出は不可とする。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	栄養教育のための基本 (栄養アセスメント) (1-1)	栄養教育に必要なアセスメント (栄養素等摂取量の把握)	栄養アセスメントの種類を予習する。食事調査に必要な標準的な食品の重量等を復習する。
2	栄養教育のための基本 (栄養アセスメント) (1-2)	栄養教育に必要なアセスメント(栄養素等摂取量の把握とその他必要な情報の収集)および課題の抽出	栄養摂取量等から課題抽出する流れを予習する。流れのポイントを復習する。
3	栄養教育のための基本 (栄養アセスメント) (1-3)	アセスメント結果と抽出した課題、改善策の提案(プレゼンテーション)(事後レポート)	効果的なプレゼンテーション技術を予習する。教員や学生からの評価内容を基に振り返る。
4	対象者別栄養教育 (2-1) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育に向けた計画の立案	妊娠期の特徴や問題点、マネジメント計画を予習する。妊娠期の特徴を復習する。
5	対象者別栄養教育 (2-2) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育に向けた計画に基づく栄養教育の準備(教育媒体等作成)	妊婦への模擬栄養教育のポイントを予習する。教育媒体作成のポイントを復習する。
6	対象者別栄養教育 (2-3) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	妊婦への効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員や学生からの評価内容を基に振り返る。
7	対象者別栄養教育 (2-4) (個別教育)	個別栄養教育に必要なカウンセリング技法 妊娠期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ)(事後レポート)	妊娠期の個人が有する問題の解決に向けた栄養教育を予習する。個別教育のポイントを復習する。
8	対象者別栄養教育 (3-1) (集団教育)	離乳期・幼児期 集団栄養教育に向けた計画の立案	離乳期・幼児期に関連する特徴や問題点を復習し、栄養教育計画を予習する。授乳期の栄養教育のポイントを復習する。
9	対象者別栄養教育 (3-2) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備(教育媒体作成等)	離乳期・幼児期の特徴や問題点解決のための教育方法を予習する。各期のポイントを復習する。
10	対象者別栄養教育 (3-3) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備(教育媒体作成、リハーサル等)	離乳期・幼児期への分かりやすいプレゼンテーションに向けて予習する。幼児期の栄養教育のポイントを復習する。
11	対象者別栄養教育 (3-4) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	乳児期・幼児期へ効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に振り返る。
12	対象者別栄養教育 (4-1) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けた計画の立案	高齢期の特徴から問題点の抽出、マネジメント計画を予習する。問題解決のための教育計画を復習する。
13	対象者別栄養教育 (4-2) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けて計画に基づく教育の準備(教育媒体作成等)	高齢期の問題点を絞り、問題となる課題に関連した教育計画を予習する。効果的な栄養教育を復習する。
14	対象者別栄養教育 (4-3) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けて計画に基づく教育の準備(教育媒体作成、リハーサル等)	高齢期の問題点を絞り、問題となる課題に関連した教育計画を予習する。効果的な栄養教育を復習する。
15	対象者別栄養教育 (4-4) (集団教育)	高齢期 集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	高齢者への効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員や学生等からの評価内容を基に振り返る。
16	定期試験		